

新型コロナウイルス感染症拡大に対する市長メッセージの 公表について

現在、全国的に新型コロナウイルスの感染者が増加しており、川崎市におきましても同様の状況です。市中感染の拡大や高齢者施設等でのクラスターの続発により、市内病床の余力がなくなりつつあります。

そういった現在の本市の状況を説明するとともに、これまでも御負担をかけておりますが、市民の皆様引き続き御協力をお願いするため、市長から市民の皆様に対するメッセージを公表しました。

また、あわせて動画にて市長メッセージを配信しております。

■動画の視聴はこちら

<ホームページアドレス>

<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000116258.html>

※川崎市トップページのビジュアルエリアから遷移、又は

川崎市トップページ>暮らし・手続き>医療・健康・衛生・動物>感染症・インフルエンザ>新型コロナウイルス感染症>新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ>新型コロナウイルス感染症に対する市民の皆様へのメッセージ

<二次元コード>



メッセージを伝える福田市長

■周知方法

動画メッセージについてLINE アカウント、ツイッター等において周知します。

<問合せ先>

川崎市総務企画局危機管理室 青柳担当
電話 044-200-0514

新型コロナウイルス感染拡大に対するメッセージ全文

川崎市長 福田 紀彦

川崎市長の福田紀彦です。

今日は12月18日でありますけども、現時点での川崎市のコロナの状況、そして特に今日お知らせしたいのは、川崎市内の病院・病床の現状について正しい情報を正確に皆様にお伝えしたいという思いで、今日はメッセージという形でさせていただきますと思います。

まずこの間、医療従事者の方を始め、本当に多くの皆さんの御協力のおかげで医療あるいは福祉、そういった現場を守っていただいております。そのことに関して心からの感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

さて、11月14日に神奈川県で医療アラートが発出されまして、即応病床と言われる今コロナで陽性になってすぐに対応できる病床が今まで70床用意しておりましたけれども、この医療アラートを受けて130床まで、12月1日の時点で、約倍近くに増やしました。そして、私たちはこれまでも、180床まではコロナ対応病床があるということを言ってきましたけれども、冬の時期になりますと、心筋梗塞であるとか脳卒中であるとか、コロナ以外の命にかかわるような重篤な病気が増えてまいりますので、そのための通常の医療とコロナの病床をしっかりとバランスよく運用していかなくちゃいけないという意味で、この調整が非常に難しい状況になってきています。今は130床あるこの即応病床の中で今日時点では90床以上、日々毎日のように変わっていきますので、大体90床以上を現在使っているというところなんです。ここをまだ空きがあるんじゃないかと思われる方も多いと思いますが、しかしこの空きはむしろ、中等症からいきなり明日重症になってしまう可能性がある、あるいは突発的にクラスターが発生して入院しなくちゃいけないという形で、戦略的に空きを持っていないと、とても対応できないというそういう空きでありますので、非常に今危機的な状況にあるということを皆様に御理解をいただきたいと思います。

そして、この病床を適切に最適で運用していくために、私たちは今3つのことを取り組んでいます。川崎市内でコロナの陽性患者さんが発生した場合に、どこの病院にどの方にお入りいただくのかというのは、川崎市の医療調整本部というところで対応しています。

3つのことのまず一つ目は、緊急を要しない入院患者さんの方には、川崎市内の病院というよりも、むしろ神奈川県内全体での広域調整の中で市外の病院に入院していただくということを、まず一つ目の取組としてやっております。

二つ目でありますけども、入院判断スコアというのがあるんですが、実は11月ぐらいまでは65歳以上の方で感染された方は即入院というのが一つの国の基準になっておりましたけれども、12月の7日の時点から、神奈川県全体として、基礎疾患がどのぐらいある方なのか、高齢者はどのぐらい高齢なのか、アレルギーはあるのかとか、そういうことをポイント化して、軽症あるいは無症状の方には、一律に高齢だから入院していただくということではなく、宿泊施設ですとか自宅待機、もちろん健康管理をしっかり行った上でありますけども、そういう対応をさせていただきます。

それから三つ目は、感染力がもう消滅した方については即時に、もちろん医師の判断でもって、コロナ病床以外の病床に転院していただくということをやっております。

こういった3つのことを組み合わせることによって、なるべくコロナの即応病床を圧迫させない取組を行っているところでございます。今の状況は、この病床調整をすることによって命を守る、そのための対応を取っている、命を守ることを最優先した取組を行っているということに、皆さんの御理解と御協力をいただきたいと思っています。

現時点で直ちに、神奈川モデルにおけるコロナ病床が足りないということではありませんが、この状況が続きますと、確実に不足してまいります。助ける命、これはコロナだけではなく、先ほど言ったようにいろんな疾患が冬の時期はありますので、全ての助かる命をみんなですっきりと助けていく体制を確保するためにも、医療の危機を招かないことが大事です。ここが本当に瀬戸際だと認識しています。

年末年始、どうしても医療体制が弱くなってきます。皆さんにはこれまでも十分な御協力をいただいていると思いますが、まだまだその配慮が足りていない方も見受けられるのも事実であります。もしそういう方がいらっしゃれば、優しく指摘をして差し上げて、声をかけていただきたいと思っておりますし、一人一人のこの行動変容、優しさに基づいた行動変容が、医療の危機を招かない、そして救える命を確実に救うこととなりますので、どうか皆さんの御協力をいただきたいと思っております。

そして最後に、今イギリス、アメリカなどでコロナウイルスのワクチン接種が始まりました。国の方でもワクチンに対する説明が近々に各自治体に行われると予定されています。それに向けて、川崎市としても準備態勢をしっかりと組んで、一日も早いワクチン接種を安全に確実に迅速に対応できるように、準備を整えてまいりたいと思います。

皆さんの正しい理解と御協力を心からお願いいたします。